



VOICE

読者のページ

2025年5月号(53巻5号)へ寄せられた
読者の皆様からのご意見・ご感想を紹介します。

特集

徹底解説！ 血栓止血検査のピットフォール

- 凝固検査の基礎のわかりやすい解説が勉強になりました。凝固検査の溶血検体は、検査可・不可・両方の意見を耳にしていたのですが、不可の理由にも再採血が必要な背景にも納得できました。 **ろんたん (大阪府)**
- 凝固・線溶系は、いまひとつ理解度に自信がもてない分野でした。検査時の落とし穴や気をつけるべきポイントがわかりやすく紹介されていて、とてもためになりました。 **SI (長崎県)**
- 難しい血栓止血について詳しく解説されていた点が良かったです。ちょうど職場に実習生が来ていた時期で、説明に役立ち、ありがたかったです。 **YK (群馬県)**

MT Seminar

薬剤性腎障害時の尿沈渣像の見方

- 当番の時しか尿沈渣を鏡検しないため、薬剤結晶を実際には見たことがありません。写真付きの解説がとても参考になり、助かりました。 **やもり (山口県)**
- 以前に薬剤と疑われる結晶を見たことがありますが、教科書に記載がなく、不明なままでした。本記事でそれがトスフロキサシン結晶と判明し、スッキリしました。ありがとうございます。 **さんきち (山口県)**
- 写真が豊富で、大変参考になりました。最近はさまざまな先発薬が普及し、各種サプリメントも手軽に入手できるため、今後は薬剤性腎障害の危険が高くなるのかもしれないと感じています。 **HY (福岡県)**

基礎講座

尿潜血反応と尿沈渣検査の結果が 乖離する際の考え方

- 尿潜血反応と尿沈渣検査の結果が乖離する原因は頭に入っていたのですが、ヘモグロビン尿を認める疾患について詳しく学んだことはありませんでした。とても勉強になりました。 **SS (奈良県)**
- 「尿潜血陽性、尿沈渣陰性」という結果を見た時に、次にどういった項目を確認するのか、思考の整理ができました。 **HH (兵庫県)**
- まさに検査をしていて困ることの多い内容だったので、とても助かります。表2「尿潜血反応と尿沈渣赤血球における乖離の原因」を尿沈渣の顕微鏡の前に貼っておきます！ **コウベノサウナー (兵庫県)**

MT Seminar

シリーズ 不安解消！高齢の患者さんへの対応 (後編：コミュニケーション)

- 高齢者への対応にはいつも悩みます。聞こえるようにと声を張ると、患者家族や他の患者からは威圧的と受け取られ、肩身が狭いです。本記事を参考に、少しでも前向きに対応していきたいです。 **YO (岐阜県)**
- 耳が聞こえにくい人には、身振り手振りや検査機械を見せて安心できるように心がけています。寄り添う気持ちが一番大事なので、一方通行ではなく、相手の反応も正しく受け止める努力を肝に銘じます。 **MK (千葉県)**
- 意思疎通が難しい患者に対するコミュニケーションには苦手意識がありますが、ピンポイントでメッセージを送るように意識してみます。 **YT (東京都)**

ご意見・ご感想は巻末の「ホットラインカード」、またはWebアンケートにてお寄せ下さい。ご投稿をお待ちしています！

